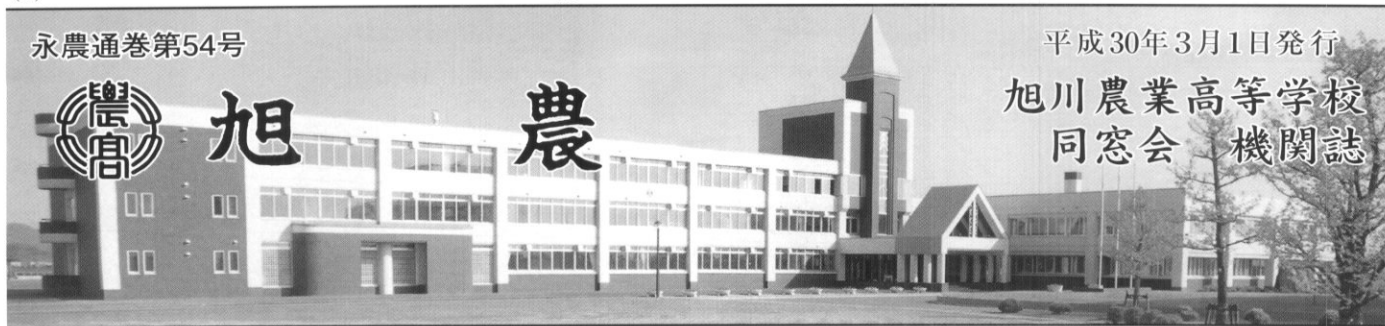




母校の充実、躍進を願って

ご挨拶



第八代同窓会 会長
福島 堅一 (35 Ab)



第二十七代 校長
廣瀬 之彦

旭農、永農同窓生の皆様には、平成三十年の新春を、大きな希望と期待を胸に迎えられるました事お喜び申し上げます。

母校も学年末を迎え、三年生もいよいよ就業に、進学に向けて大きな希望に胸をふくらませていると思います。私達同窓会としても、後輩の皆様には心からエールを送りたいと思います。

さて国の内外を問わず、依然として不安定状況にあり、世界各地で、テロやミサイル等、いつ自分の身近に影響があるか心穏やかではありません。世界大戦のあと七十年に渡り、安定成長期にあつたと思ひ、今一度心引きしめる時が来たと思います。

旭農校の歴史も、国際的に激動の歴史をのりこえて、復興、成長を続けて来たことは、日本人の力と熱意の賜物と誇りに思っています。その中で現在のすばらしい伝統と栄光に輝く母校があり、大きな誇りと感謝の念でいっぱいです。

また戦後展開された教育理念に基づき、日本が、世界が求める人材の育成に勤め、校下の皆様と、地域行政の理解と協力のもと社会教育に

も尽力して来ましたが、今日少子高齢化は、全国的な社会問題となつていて各学校、大学でも、生徒、学生の募集に影響が出ています。受験生が募集枠を下まわる状況にあり、学級減の憂き目に会っている高校が多い中、旭農では、志望数も安定した環境にあると思います。この事は、北海道はもとより全国各地の企業、社会に活躍し、実績を上げている、同窓生の存在が大きいと思います。

同窓会としても「農、食、環境」の教育充実を求めて、地域社会の発展に寄与出来る活動を進めて行く努力をお願いします。同窓会の各支部の皆様にも各地域での積極的な活動を、そして御協力をお願い致します。

旭農校の開校百年に向けて更なる充実、発展を、心より祈念申し上げます。

旭農校の



永農・旭農同窓生の皆様には、日頃から本校の教育活動推進に多大なるご支援とご協力をいただき、心からお礼申し上げます。今年度は162名の新入生を迎え、475名でスタートいたしました。生徒達は熱心に学習や農業クラブ、生徒会行事、部活動、地域との連携事業、ボランティア活動等に取り組む、地域の皆様からも高く評価いただいております。このような様々な活動に生徒達が生き生きと取り組むことが出来ますのも同窓会の皆様からご支援いただいております「教育振興基金」のおかげであります。重ねて厚く感謝申し上げます。

さて、日本は少子高齢化の進行により、約50年後には総人口が約3割減少、65歳以上の割合が総人口の約4割に達する見込み

です。そのため生産年齢人口も減り続け、約50年後には約半数まで減少する見込みでもあります。また、世界のGDPに占める日本の割合が2010年5.8%から2050年には1.9%になると予測され、日本の国際的な存在感の低下が指摘されています。加えて、人工知能等の進歩により20年以内に今の仕事の47%は機械が行う(英・マイケル・オズボーン)とも言われています。

情報化グローバル化など急激な社会変化の中で、既成の概念にとらわれることなく、これからの時代に求められる力を高校生活の中で育成することが大切です。特に次の3つの力を身に付けることが必要であると言われています。

①自分の個性や能力を生かしながら、社会の激しい変化の中でも何が重要かを主体的に判断できること

②多様な人々と適切にコミュニケーションをとり、協働していくことができること

③社会の中で自ら問いを立て、模索しながらも計画的・論理的に解決に導き、新たな価値を創造できること

から大学への入試改革である高大接続改革等日本の教育界は大きな変革期を今、迎えています。

本校におきまして、現在、この教育界の動きに対応すべく準備を始めています。本校生徒達に身に付けさせたい資質能力を明確にするとともに、その資質能力を育成するために本校教育をどう展開していくのかを検討しています。また、平成35年に創立100周年を迎えるにあたり、創立以来の歴史の中で築き上げられた良き伝統を受け継ぎながら、新しい旭農の在り方を検討するために将来構想策定委員会を立ち上げました。教育課程や組織の在り方等学校運営全体を点検、改善を図る予定です。

今年度は、特に、授業評価改善に取り組むとともに、普通教科では、自ら学ぶ姿勢の定着と学力の向上、高大接続改革への対応等に、農業教科では、Asia Gap取得等グローバル・ICT教育等に取り組むよう準備を進めているところであります。

地域に必要とされ、信頼される学校として、同窓生の皆様からも、今後の本校の在り方にさまざまなご意見をいただきたいと思います。願っております。

今後とも本校の教育活動にご支援とご協力をいただき、ますますようぞろしくお願ひ申し上げます。

●平成29年決算報告・平成30年予算案

項 目	H29決算	H30予算	適 用
繰越金	499,540	509,758	
正 会 員 会 費	936,000	918,000	H29卒業生156名×6,000円
雑 収 入	50,796	1,170	利息・集い残金他
基金運用益金	2,333,072	2,333,072	国債
合 計	3,819,408	3,762,000	
事務費			
備品費	5,100	20,000	レターケース
通信費	18,766	20,000	機関紙送料切手はがき
印刷費	12,700	20,000	マスター代
消耗品費	950	20,000	ゴム印 封筒
幹事活動助成費	40,000	50,000	校内幹事活動費
小 計	77,516	130,000	
事業費			
機関誌	245,700	300,000	機関紙印刷
卒業記念品費	34,560	250,000	名刺ケース 包装代
慶弔費	592	60,000	弔電
諸 費	134,186	300,000	支部総会祝儀 他
小 計	415,038	910,000	
役員手当	120,000	120,000	役員12名
旅 費	437,868	600,000	総会 支部総会等
会 議 費	96,580	200,000	総会会場費 会議費
予 備 費	422,648	102,000	集い助成 名簿準備費
教育振興助成	1,400,000	1,400,000	本校助成
支部活動費	340,000	300,000	支部活動助成
小 計	2,817,096	2,722,000	
次年度繰越	509,758		
合 計	3,819,408	3,762,000	

●平成29年 教育振興基金(国債運用基金額 145,000,000円)

基金額	利息	税金	基金運用益金
145,000,000	2,755,000	国 税 421,928	2,333,072
		地 方 税 (法改正により免除)	
合 計	2,755,000	421,928	2,333,072

●平成29年度事業報告(H29.1.1~H29.12.31)

1月14日	役員会・会計監査 集い実行委員会
1月28日	平成29年同窓会総会 同窓生の集い
2月28日	役員会 同窓会入会式
3月 1日	第69回卒業式出席 機関紙第53号発行
4月10日	平成29年度入学式出席
7月4日	役員会
10月26日	役員会
11月25日	役員会 集い実行委員会
12月16日	役員会 集い実行委員会

■支部総会参加:旭川東・末広・鷹栖・札幌・当麻・東旭川・神居・上富良野・東京・比布・愛別・苫小牧・十勝・旭川北

●平成30年度事業計画(H30.1.1~H30.12.31)

1月13日	役員会・会計監査 集い実行委員会
1月28日	平成30年同窓会総会 同窓生の集い
2月28日	役員会 同窓会入会式
3月 1日	第70回卒業式出席 機関紙第54号発行
4月~	平成30年度入学式出席 役員会開催・支部活動支援・教育振興基金助成・同窓会の集い開催 母校諸行事後援・母校生徒会農業クラブへの後援

旭農同窓会総会及び集いについて(報告)



同窓会 幹事長

山 川 勝(38Ab)

旭川農業高等学校同窓会
総会が、支部長及び支部代議
員の出席のもと1月27日旭川
市内にて開催されました。
福島堅二会長(S35)はじめ
近隣支部はもとより東京、札
幌、苫小牧、日高、紋別、留萌
支部等の参加をいただき総会
が開催できましたこと、日頃
から母校及び同窓会活動にご
支援賜り感謝申し上げます。

母校が多方面にわたり素
晴らしい活躍の姿が報道され
ており、同窓会としても高く
評価するとともに誇りとする
ところです。
創立100周年記念事業推進
に向け同窓会名簿の発行に着
手、検討委員会において歴史
ある母校にふさわしい記念事
業に向けて協議を重ねてまい
ります。

いまの時代に即応した教育
が求められ、社会の要望に応
える人材育成に同窓会として
も協力してまいりますので各
支部においても限らない支援
をお願いしたい挨拶がありま
した。
廣瀬之彦校長から、日頃の
支援にお礼の言葉があり、100
周年事業に向けて校内の意見
集約をおこない構想委員会に
おいて検討していく旨お話が
ありました。

総会に入り議長に、角谷真三
(S45)当麻支部長を選出、事
業報告、決算報告、監査報告
並びに新年度事業計画案予
算案について満場一致承認さ
れました。
総会に入り議長に、角谷真三
(S45)当麻支部長を選出、事
業報告、決算報告、監査報告
並びに新年度事業計画案予
算案について満場一致承認さ
れました。

平成31年の同窓会の集い当
番期は、実行委員に56年卒
期を中心に平成31年1月26
日の開催を確認して総会を閉
会。
引き続き永農・旭農同窓会
の集いが、橋村博実行委員長
(S55)留萌支部長の挨拶で
開会、吹奏楽部の演奏後、恩
師を囲んでなつかしい同窓生
と和やかに懇親、卒業記念ア
ルバムから抜粋した懐かしい
木造校舎や学校行事、部活
動、修学旅行などが映し出さ
れた。最後は「永農歌」、「旭農
校歌」を全員で合唱、学生時
代の青春を思い出に閉会いた
しました。



田植え



小学校との水稻学習交流



ドローン講習会

農業科学科



チーズ製造



食べる大切フェスティバル



黒大豆みそ発売発表会

食品科学科

旭農近況報告


 頭 幸
西村 博

同窓会会員の皆様には、日頃より母校「永農旭農」の教育活動へのご支援とご協力を賜り、衷心より感謝申し上げます。
さて、同窓会機関誌の発行にあたり、生徒の状況等をご報告いたします。

まず第一に、農業クラブ活動についてです。プロジェクト発表会において、米粉班と中華まん班が北海道の代表として全国大会への出場を果たし、分野Ⅱ類では米粉班（「米（マイ）」タウン旭川から届けたい！「米粉の魅力発信プロジェクト」）が優秀賞を受賞しております。

本校の農業クラブ員は、北海道の農業クラブ本部校として、大いに実力を発揮し、全道の農業クラブ員を牽引する活躍をしております。また、部活動でも数多くの活躍が見られたところです。中でもスキー（フルディック）部については、インターハイ並びに選手権大会ともに出場したほか、個人でもアルペンスキー競技において同様の活躍が見られました。その他、吹奏楽部は十二月二十四日、記念すべき第十回定期演奏会が市民会館を会場に盛大に行われました。

今後、本校生徒の活動に対し、温かいご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

〔全国大会〕

◆スキー部
第67回全国高等学校スキー大会（クロスカントリ）

3 M 窪井ゆかり
2 F 村上伊吹（クラシカル5位）
2 F 渡邊虹希・1 M 八木征哉
2 L 盛田ゆづき
1 F 堀 陽登
1 L 小野崎 滯（アルペン）
第73回国民体育大会（クロスカントリ）

◆農業クラブ（岡山大会）
農業鑑定競技

3 A 長谷川 匠（優秀賞）
3 A 山本淳也（優秀賞）
3 M 伊東成美
3 F 平中 翔（優秀賞）
1 L 石尾さくら
平板測量競技

1 F 鈴木晶善・阪上進之介
藏重海斗・齊藤泥舜
プロジェクト発表会

Ⅱ類 3 M 荻野裕美香・三島慧
村上歩花

Ⅲ類 3 M 林 莉子・金崎風羽
高橋優花・五十嵐七海
秋季代議員会

3 M 村岡 重
〔全道大会〕

◆弓道部
第63回北海道高等学校弓道競技選手権大会

3 F 渡邊宏太・2 F 山本真生
◆卓球部
第45回北海道高等学校選抜卓球大会

男子団体 女子団体
◆陸上部
第70回北海道高等学校陸上競技選手権大会

2 A 日野栄七（やり投げ）
2 F 山下奈々花（円盤投げ）
2 F 打矢歩夢（円盤投げ）

◆書道部
第51回全道高等学校書道展

3 M 三島慧・2 A 安彦咲桜里
2 A 太田優香・2 M 佐藤優唯
2 L 大場いずみ・2 L 菅原美玖

全校生徒数

（平成30年2月1日現在）

学 科 名	1年生			2年生			3年生		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
農業科学科	22	18	40	15	24	39	21	17	38
食品科学科	4	37	41	8	30	38	5	35	40
森林科学科	35	5	40	27	10	37	31	9	40
生活科学科	0	41	41	0	39	39	0	39	39
合 計	61	101	162	50	103	153	57	100	157

進路動向

（平成30年2月8日現在）

今年度の進路状況は、進学が98%、就職が100%となつています。また、将来農業自営を目指す生徒が7名おり見聞を広め地域での活躍に期待します。

今後、未決定者への指導と1・2年生に対する進路指導の徹底を進めていきます。

	希望者数	決定者数	決定率
進 学	73	72	98.6%
就 職	80	80	100%
自 営	(7)	(7)	(将来自営)
その他	3	3	—
全 体	156	152	97.4%



◆野球全校応援



◆陸上部女子フィールド総合3位



◆吹奏楽部（集いオーニシグ）



◆農業クラブ岡山大会



北大研究林実習



黒岳植生調査



下川実習

森林科学科



アレンジ講習会



園芸福祉班寄せ植え交流



ガーデニング甲子園（大賞）

生活科学科



支部だより

平成30年の支部総会が開催されています。今年度は100周年にむけて、12月に名簿を発行予定です。支部活動に今後役立てていただければと思います。

御案内いただければ、本部より可能な限り出向きたいと思っております。是非連絡をお願いします。

※2月8日 旭川東支部総会
2月10日 東神楽支部総会
2月11日 末広支部総会
3月2日 鷹栖支部総会(予定)



●旭川東支部



●東神楽支部



●末広支部

永農・旭農同窓会本部役員・幹事

会長	福島 堅一 (35Ab)
副会長	三宅 愛子 (35H)
副会長	長勢 孝志 (40Aa)
副会長	星大塚 隆子 (47H)
常任理事	高嶋 勝子 (50L)
常任理事	菅野 孝夫 (35F)
常任理事	千葉 かよ (44Aa)
監事	牧野 孝子 (50L)
監事	松原 勝頼 (39Ab)
幹事	山川 朗勝 (48Ab)
事務局	長 齊藤 睦 (57H)
事務局	会計 伊藤 則明 (55H)
事務局	書記 野上 吉嘉 (61F)
事務局	上野 健一 (61F)
事務局	鈴木 龍太

〈事務局〉旭川市永山町14丁目153 母校内
☎(0166)48-2887・1320 電48-1360

平成31年 会員多数ご参加ください

永農・旭農同窓生の集い

開催日	平成31年1月26日(土)
時間	14:30~
場所	旭川グランドホテル (4/28より 星野リゾートOMO7旭川)
顧問期	41・46・51(卒期)
委員長期	56(卒期)
当番期	61・H3・H8・H13・H18 H23・H28(卒期)

編集後記

旭川農業高等学校同窓会機関誌「旭農」(永農通巻第54号)をお届け致します。編集に際し原稿の執筆、資料、写真等をご提供いただきました方々に深く感謝申し上げます。機関誌「旭農」は同窓生皆さんの「絆」であり「広場」でもあります。更に伝統ある旭農会の歩みを刻み、歴史の一頁にしたいと思っております。

また今年度同窓会名簿を発行予定となっており、皆様の御協力よろしくお願いいたします。

同窓生各位のご健康とご多幸を母校よりお祈り申し上げます。

逝去された会員の皆様のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

(文責 事務局出版)

永農・旭農同窓会 支部組織役員一覧 (平成30年3月1日現在) ※職域支部廃止(平成22年総会決議)

支部名	支部長名(卒期)	郵便番号	住所
旭川中	安田 佳正 (59F)		
旭川東	飛騨野 正幸 (37Aa)		
旭川北	奥山 義三 (41F)		
旭山	渡邊 佳則 (39Aa)		
永山西 (事務局長)	松原 朗 (48Ab)		
旭川	森定 一二 (36Ab)		
鷹	谷口 威裕 (42Aa)		
東	柿林 孝志 (42Ab)		
末	岡上 康弘 (29H)		
神	居上 隆利 (35Ab)		
丹	辻 義照 (26Fc)		
江	山本 哲夫 (35P)		
上	橋本 祐一 (24F旧)		
愛	高橋 義久 (38F)		
当	高井 優 (46Ab)		
比	中道 眞義 (46Ab)		
鷹	角谷 眞一 (45Aa)		
東	伊藤 喜代志 (48Ab)		
東	加藤 敏昭 (44Aa)		
美	鬼塚 嘉幸 (20Ab)		
富	堤 義彰 (48Ab)		
(連絡先 幹事)	照本 清光 (36Aa)		
中	岸本 和彦 (48H)		
上	土橋 頼浩 (H4F)		
士	野安井 士八 (43Ab)		
名	野工藤 次郎 (46F)		
札	和田 敏明 (45Aa)		
岩	伊林 好 (44Ab)		
滝	高橋 義輝 (50H)		
深	清造 富二夫 (33Ab)		
留	橋村 博 (55Aa)		
芦	深谷 正信 (30F)		
北	春田 淑郎 (28Fa)		
網	本田 勝樹 (37H)		
紋	酒井 末治 (32F)		
十	工藤 隆 (46F)		
苦	柏崎 雅 (25Ab新)		
日			
幌			
遠			
浜			
枝			
苦			
道			
俱			
東			